

# プログラム様式

| プログラム名       | 実一葉一玉入れ  |   |
|--------------|--|---|
| 対象年齢         | 年中（4～5歳）   |   |
| メッセージ        | 木の実と葉っぱの役割を知る  |   |
| ねらい          | 発見・体験<br>感じること<br>・森に落ちていたものを見つける<br>・木の実と葉っぱの性質に気付く |   |
| 参加者のめやす      | 幼児 35人   | 支援者 3人  |
| 実施時間         | 30分  |   |
| フィールド        | 森・山・川・湖・池・田畑・野原・園庭・公園                                |   |
| 実施可能時期       |  |   |
| 自然を感じるためのヒント |  |   |
| 時間           | 活動   | 配慮・アドバイス・アレンジ   |
| 0分           | 松ぼっくりを探す<br>（ポケットに3つ入れる）                             | ・ポケットに入れてもいいし、手に持っていてもいいことを知らせる。<br>・ルールを理解が険しい子には個別に声をかける。<br>・落ちていたものを使う。 |
|              | 3つ、見つけたよ   |   |
| 5分           | まつぼっくりジャンケンをする<br>・ルールの説明を聞く                         | ・見本を見せる。<br>・ルールの説明をする。<br>・3人の人とジャンケンをする<br>・同じ人とはしない<br>・先生の合図でする         |
| 10分          | はっぱジャンケンをする<br>（3回）                                  | ・松ぼっくりと同様に行う。   |
|              | ジャンケンして葉っぱをゲットだ！                                     |   |



| 時間         | 活動   | 配慮・アドバイス・アレンジ  |
|------------|--|--|
| 15分        | 実、葉玉入れをする  | 最後<br>・ジャンケンで勝った人と負けた人でチームを作る。<br>・実-葉チームに分かれて玉入れをする。<br>・自分のものを使う。なくなったら落ちていたものを拾っていいことを知らせる。<br>・投げていいのは自分のものだけ。<br>・工夫しているところ（投げ方、考えてやってみたこと）を知らせる。 |
| 20分<br>25分 | ・集まったものを数を数えて勝敗を知らせる<br>・チームをチェンジして玉入れをする。       | 傘いっぱいに入れよう！  |
| 30分        | ・木の実と葉の違いを考える<br><br>・役割を考える<br>・形状の違い<br>・役割の違い | ・子どもたちが自分で木や実の性質に気づけるように質問をする。<br>・子どもたちに木の実や葉っぱの役割を聞く。<br><br>・春になったら芽が出ているかもね…と期待が持てるように話をする。  |
|            | ・まつぼっくりは種であり仲間を増やすために転がる<br>・葉っぱは下に落ちて良い土になる     | 春にはみんなが拾った種から芽が出ているかもしれません   |
|            |  |  |
|            |  | 【園や家庭へ帰ってから】<br>◆春に新芽を探してみる。<br>◆園の中で種を探してみる。<br>◆拾った種を飼育栽培してみる。<br>◆保護者と自然の中に行き、種や新芽を探してみる。<br>◆実、葉以外でも、落ち方や生え方を比較してみる。                               |
|            | 準備物・教材等  | ・実、葉を入れる（透明の傘2本）<br>・タフロープ<br>・ハサミ   |

